



令和7年度 関川小学校グランドデザイン

教育目標 ゆたかな心 たくましい体 すすんで学ぶ 関川の子



【 目指す子どもの姿 】 自分を大切に高め、まわりの全ての人と環境にやさしくできる子

ESDを基盤とした、教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

今年度の重点1 多様な個性を認め合う豊かな心の育成

校内教育支援ルームの活用

〃 重点2 多様な学び方が実現できる学習環境づくり

保・小・中連携プログラムの推進

〃 重点3 健全な生活とスポーツを通じた豊かな心身の育成

複数担任制の実施

〃 重点4 教育DXによる働き方改革の推進

<学校と家庭>

基本施策と評価するための指標

<個別最適な学びと協働的な学びの
一体的な充実>

- ①主体的・対話的で深い学びへの授業改善
 - ・自律的で学習者主体の学び
 - ・多様な他者と協働した学び
- ②確かな学力の育成を図る
 - ・児童一人一人の確かな学力の定着
 - ・授業の内容がよく分かり、勉強が楽しい

<共生社会実現へ向けた取組>

- ①人権教育、同和教育、防災教育の実施
 - ・年間計画に位置づけた学習の実施率
- ②多様性理解教育の実施
 - ・年間計画に位置づけた学習の実施率
- ③過ごしやすく、安心・安全な教育環境
 - ・UDLな教材・教具、施設設備
 - ・様々な特性やニーズに応じた学びの場

<児童と教職員のウェルビーイング>

- ①ウェルビーイングのある学校生活
 - ・学校生活が楽しいと感じる児童
 - ・自分の成長を感じる児童
 - ・将来の夢や目標を持っている児童
- ②学校業務にやりがいを感じる教職員
 - ・子どもの成長や指導力の向上等にやりがいや喜びを感じる教職員

自ら考え学び合う子ども(知)

【 成果目標 】

- ①学習の内容が分かり、勉強が楽しいと思う
- ②日々の授業、家庭学習の振り返りで学びの深まりを実感する
- ③自分で目標を立てて家庭学習を行う

人も環境も大切にする子ども(徳)

【 成果目標 】

- ①自己肯定感(自分にはよいところがある)を高める
- ②自分から進んであいさつができる

心身の健康増進を図る子ども(体)

【 成果目標 】

- ①運動時間を確保し、自分の健康を維持する
- ②就寝時間と起床時間を整えて、日々の生活習慣を改善する

【 ふるさと学習 】 地域の「人・もの・こと」との交流による「探究学習」(生活科、総合的な学習の時間)

<地域・社会及び家庭>

【関川村の特色化教育】低学年書道科 → 書道を通じた精神性の向上

関川村教育研究協議会

関川村「保・小・中連携プログラム」の共同的な取組

【関川村 世界に誇る生活習慣の確立】

姿勢正して。1にあいさつ。2に返事。靴をそろえて椅子入れる。箸と鉛筆正しく使う。

○関川村スキークラブ

○スポーツ協会

○各種ボランティア

○関川村公民館 他

○地域学校協働活動「関川村地域こども応援隊」

地域や関係団体との連携・協働

関川村学校運営協議会(CS)

○地域コーディネーター

○関川村社会福祉協議会

○スクールカウンセラー

○民生委員・児童委員

○関川るーむ

○関川村教育支援センター「陽だまり」